

日本政府は核兵器禁止条約に参加を!

被爆者
とともに 国会へ

11/21(金)

署名提出 &
14:00~15:30
議員会館前集会

16:30~17:30

みなさん、今年は被爆80年の節目の年です。緊迫した国際情勢のもと、核使用の緊張と、核兵器が私たちの安全保障に重要な役割を果たすかのような幻想が強調されています。日本政府もアメリカの「核の傘」にたより、核兵器禁止条約に背を向けています。

11月21日、私たちは、「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」を提出します。また国会前でも集会を開きます。被爆80年、平均年齢86才を超えた被爆者のみなさんの証言、核兵器廃絶を願う声は、人類全体の声に他なりません。核兵器が何をもたらすのか、被爆者が経験したその地獄は、絶対に繰り返してはならないものです。核兵器禁止条約に日本も署名し批准する、その決断を迫りましょう。

署名の共同提出

【日時】 11月21日 14時~15時30分

【場所】 星稜会館ホール
(東京都千代田区永田町2-16-2)

※ 署名は日本被団協ホームページから
ダウンロードもできます。

オンライン署名
二次元コード



衆議院議員会館前集会

【日時】 11月21日 16時30分~17時30分

【場所】 衆議院第二議員会館前

【内容】 主催者あいさつ、被爆者の訴え、
リレートーク、
政党・国会議員あいさつなど

※ 日本政府に核兵器禁止条約への参加を
求める市民・団体は誰でも参加できます。

手作りプラスター、横断幕、
キャンドルライトなど、
持ち寄りましょう。



80年前の8月6日と9日、米軍が2発の原爆をそれぞれ広島と長崎に投下しました。2つの都市は壊滅し、数十万人の住民が年内に殺されました。傷つきながら生き残った数十万人の被爆者も、放射線による病気や死への不安に生涯苦しめられました。

被爆者は地獄の体験の証言を通して、核兵器は絶対に使われてはならないと叫び続けてきました。この80年間、核兵器を使わせなかったことに大きく貢献し、日本被団協に2024年ノーベル平和賞が授与されました。

ところが、日本政府はアメリカの核兵器の拡大抑止力に頼って、日本の国家と国民の安全を保てると誤信し、2017年に制定、2021年に発効した「核兵器禁止条約」に反対し、加盟しようとしません。

このような政府を認めているのは日本の国民です。すみやかに日本が加盟し、核兵器の廃絶に向けて先頭に立つことを求めています。



長崎被爆者
田中熙巳 さん

支援カンパのお願い

「11・21行動支援カンパ」と明記の上、日本被団協の郵便振替口座「00100-9-22913」にお寄せください。

お問合せ先

11・21署名共同提出、議員会館前集会事務局
(日本原水爆被害者団体協議会)

東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル902 Tel 03-3438-1897